

不登校予防プロジェクトの実施について

1 趣旨

不登校の未然防止や早期発見、早期対応を推進するために、大学等の教育資源を活用し、不登校の未然防止や予兆への対応を含めた早期の段階からの組織的・計画的なアセスメントを強化し「チーム学校」を見据えた不登校を生まない教育環境を整備する。

2 事業内容

(1) 学級集団アセスメント (hyper-QU) の導入

ア 内容

年間2回(5月・12月)、対象学年において hyper-QU によるアンケートを実施する。診断結果を基にした外部講師による助言を行うとともに、スクールカウンセラーとの情報共有及び児童・生徒へのフィードバックにより、多面的・多角的な支援に活用する。

イ 対象

小学校第5学年・中学校第1学年

(2) 学級満足度向上モデル校の指定

ア 内容

対象校へお茶の水女子大学心理学専攻大学院生を派遣し、教員やスクールカウンセラーと連携して、児童・生徒の良好な人間関係作りに取り組むとともに、個別的な対応を必要とする児童・生徒と関わる。

また、スクールソーシャルワーカーを学校に配置(週1回)し、教職員と連携を深めながら支援を行う。

イ 対象

文京区立昭和小学校・文京区立茗台中学校

(3) SNSを活用した相談窓口の開設

ア 内容

生徒が気軽に相談しやすい窓口としてSNSを試行的に開設(8月中旬～9月中旬)し、相談することの啓発と初期段階での悩み解決を図るとともに、相談の集計・分析結果を基に、今後の相談体制の充実に向けた検証を行う。

イ 対象

区内在学・在住の中学生